

東海大学付属望星高等学校 同窓会会報

第37号

平成26年2月発行

東海大学付属望星高等学校同窓会
東京都渋谷区富ヶ谷2-10-1

☎ 03(3467)8111

発行人 金谷 義孝



望星高校への想い

校長 細川 洋

2014年12月、北日本では、例年より早く降雪・積雪があり、東京でも朝晩の冷え込みは厳しいものがあります。

今年度も、本校同窓会の皆様には、多大なるご支援・ご協力を賜りました。心より御礼申し上げます。ありがとうございます。

10月に実施しました文化祭においても、ご協力ありがとうございました。また最近の同窓会行事では、若い同窓生をお誘いしていただき、次世代に向けての同窓会の基盤を作っていたにいます。今後とも皆さんの母校「望星高校」への暖かいご支援・ご協力を宜しくお願い致します。

皆様ご存知のように、本校が「付属高校通信教育部」から独立し、1963年4月に、付属望星高校となつてから50数年の月日が流れました。私事ですが、私が望星

高校には、過去3回お世話になりました。最初は1978～79年に社会科非常勤講師として勤務いたしました。当時の校長が内木

先生・教頭が村田先生・事務長が成田先生、その他にも国語の大日方先生・桜井先生、社会の高橋先生、数学の金子先生・仙波先生、理科の池淵先生・小松先生、そうそうたるメンバーが揃っていて、とても怖かったことを記憶しています。でもその時、教育の原点を各先生方に教わつたような気がしています。2回目は2005～06年に教頭として、そして2012～14年に校長として、現在勤務しています。

望星高校の卒業生が3万人を超えました。ただ、同窓会の役員として活躍されている皆さんが、在籍していた頃とは、教育環境も生徒層も学習システムも大きく変化してきています。現在は、多くの

第52回望星高等学校同窓会案内

初夏のさわやかな風が木々の緑と戯れる頃となりました。

そして今年も望星同窓会の総会時期をむかえます。

同じ学び舎を共有し「蛍の光」や「仰げば尊」を涙の内に歌い別れた貴方達とも、あの日以来長い歳月が流れ過ぎてゆきました。

同窓会は年代の相違や職域の違いはあっても、母校に寄せる帰属意識は同じはずです。

ここで学生時代に立ち返り、思い出を語りあいましょ。懐かしい旧師、旧友が貴方を温かく迎えてくれる事でしょう。

尚、ご出席出来ない方もハガキにて、近況をお知らせください。

記

(1)日時 平成27年6月7日(日)

午後1時より総会

午後2時より懇親会

(2)場所 東海大学 4号館Yカフェ

総会 4号館Yカフェ2階

懇親会 4号館Yカフェ2階

(3)会費 同窓会会員他一律 4千円

今年度卒業生 2千円

ご夫婦での参加 8千円

望星高等学校同窓会事務局

同窓生の皆さんが学ばれた形態を受け継いでいる放送講座・スクーリング中心の放送教育コース、週々日登校学習をする平日教育コース、高等専修学校と同時入学する技能連携コース、これら3つのコース制をとり、各コースの特色を活かしながら、生徒自らが力を育むための教育内容の充実を図っています。今後も時代のニーズ・通信方法の転換等に合わせ、形態やシステムは変化していくことは、十分に考えられます。

混沌とした社会状況・教育環境の変化の中、常に通信制高校の存在意識を認識しながら、基本を大切に、望星高校の教育に責任と

自負心を持って努力していかねればなりません。

最後になりますが、東海大学創設者松前重義博士は、望星高校十周年記念誌で、次のように述べられています。「日本で最初に創設されたこの特色ある通信制高等学校と、気品の高い教養放送は、その名譽のために、その崇高な目的のために、我々の努力によって、永久にこれを継続させなければならぬ。」と、私たち教職員もこの松前重義博士の付属望星高等学校に対する想いを忘れることなく、今後も教育活動に邁進していきたくと考えております。



「三日見ぬ間の桜」

会長 金谷 義孝

最近では時間のたつのが、つとに早く感じられるようになりました。ちよつと前に正月を迎えたのに、もう一年過ぎたのかと思うと、人生の残り時間をどのように有効に使うかと考えさせられてしまいま

す。

私の仕事も情報を速く得る事が必要なので時間の速さをより感じるのでしょうか。

現代社会は情報の動きが速いので、その速い情報に対応できる状

態を作り、慣れる必要性が有りません。同窓会の有り方も古き良きものは残さなければなりません。時代の流れに沿って、どんなに変わらなければなりません。現在はパソコン・携帯・ゲーム機等を併せると6割の方がインターネットを利用できる環境にあるでしょう。まず最初の変化が、先年からお伝えした通り望星同窓会の会報や、役員会・学校行事等のお知らせもタイムリーに、今年からはホームページから閲覧して頂くようになります。勿論、機器が無く会報を紙として欲しい方には住所等、事務局に届け出て頂ければ郵送いたします。

このような形にいたしましたのも、同窓会で抱えている悩みの大きな一つが、生徒数減少による財政難です。これを解消する案が、会報のHP化による送料の圧縮です。

HP化による弊害として、今までのように会報を郵送しないので、年会費・寄付金の振込用紙を遅れません。それで、これからの卒業生から年会費制をとりやめて終身会費制と致しました。すでに卒業

された皆様が寄付の振込を行う場合には、郵便局に行き、備え付けの振込用紙に記入して降込むようになります。若干の間隔はかかりますが、今までのように寄付等のご協力を宜しくお願い致します。

同窓生からの声で、同窓会はなにしてくれるの？メリットは？帰属性や愛校心の欠如もよく耳にします。これらの事は望星高校だけではなく、どこの同窓会も悩んでいます。他校のように、甲子園出場や運動部等の活躍が多く、応援合戦が盛んな学校であれば、校歌は自然に覚えますし、愛校心も向上します。母校の誇りや、卒業して今の自分がある事の恩返しと考えると、これらの事は解決します。

「三日見ぬ間の桜」ではないけれど、木々が色づき、つばみが膨らんだかと思うと、すぐに見事な桜花が咲きます。社会情勢や情報もあつという間に変わります。同窓会の有り方も変わらなければなりません。AWUや連携校含む全体協力と皆様のご意見をどうし取り入れます。そしてもっと良い同窓会を作って、会則の目的に

うたっているように、会員相互の親睦と母校の発展に寄与したいと思います。そのためにも機器に慣れた若い方の力が是非とも必要で



総会

7期長南 友行

す。皆様のより一層のご協力を宜しくお願い致します。

去る6月1日51回目の総会が開催された。昨年は50回という節目の総会だったので校友会館で行われたが、次の50年に向かつての原点回帰にと学校内に戻した。



私が同窓会活動に関わるようになったのは卒業後だから45年になる。途中数年間抜けたことはあるが。そのころの会報の発送はあて名を書いて切手を貼り、封をしての全て手作業であり相当数の人手を要した。総会後の懇親会もやはりで会場の設営から、飾り片付けまで同様であった。時代が移り発送はDM業者に、懇親会は大学の学食へと変わった。そして今は

ITの時。数年前から郵送代や作成費の値上がり等による同窓会の財政難の解消を検討していたが、会報などはホームページからネット配信する。年会費制から終身会費制に再度移行することなどを今回の総会で他の議案とともに承認された。

会場を学食に移し懇親会が始まる。新旧教職員の方々、会員を含め70人ほどが参集した。その中に6期の生徒会長であったT氏はご夫婦で遠く高知県からの参加。他にも久しぶりに拝顔する方々も見られた。型どおりの会長挨拶に始まり、学校長からの近況報告、紹介、ビンゴゲームなど例年どおりでマンネリ感があるものの、会員相互の親睦と融和と言うことを考えればこれも在りかなと思う。

今回は進行やゲーム抽選、景品の受け渡しなど大勢の新年度役員に力強いお手伝いをいただき順調に終了できた。今の同窓会役員の我々はそろそろ身を引く時期に来ていると思う。少なくとも私はそのように考えている。今後はこの



望星高校同窓会事務局報告

事務局長 寺林 勝実

様な若い役員達に、これからの50年に向けて活躍して頂きたいと思う。



現在、望星高校同窓会は、発足52年目の春を向えています。先人達が多くの困難と財政の困窮に悩みながらも、後世に繋げる

努力を続けて来た結果、時を刻み、世代を越えて望星同窓会は、私達の世代に受け継がれたのです。此の間の同窓会々員総数は、

3万317名を越える会員の誕生と成りました。

然し、平成10年代頃から、少子化問題が徐々に、会員数の減少に影響をあたえ始め、現在に於いても、減少の一途を辿っています。

勿論こうした事の影響は、同窓会そのものの財政を圧迫し始めています。此の様な危機を向えた時に、先人達は只、指を加えていたでしょうか？私達は直ちに行動に移すべきと、一昨年から推進して来たのが、年間80万円を超す、今迄の会報発行費用を、インターネット「ホームページ」に切り替える事で、其の費用を約、3分の1



に縮小させる事が出来ると、準備を進めました。また、少子化問題で財政に影響を受ける、もお一つの要因が、卒業の翌年から「会費未納会員」の圧倒的な増加です。これは大変深刻な問題で、この問題に付いては2、3年前から、終身会費に切り替える準備を進め、2015年4月1日から、会報問題と伴に実行する、決定のはこびと成りました。また、此れ等とは別の企画で進行中の、A・W・U・クラスを、望星同窓会に一本化する計画ですが、現在ほぼ決定の状態で、手続きを残すのみと成りました。



本年、3月7日、(平日コース)8日、(放送コース)は望星高等学校の卒業式です。

此の卒業式には毎年、同窓会会長と事務局長が、来賓として出席しています。母校との絆を大切に、此の事が良い結果に繋がったのでしょうか、昨年度卒業の生徒会長と、副会長2名が新年度委員として入会、現在事務局次長としての役職で、其の任を果しています。昨年度の「文化祭」は、同窓会5回目の模擬店出店で、彼ら年度委員が率先して、主役を務めました。「文化祭は」年々盛況に成って、在校生からは、来回の模擬店に期待の声がかかります。彼ら新年度委員の繋がりで、本年卒業の生徒会長、副会長らが、卒業



連合同窓会に参加して

2期卒 清水 庄司

望星から8名参加して第39回の

連合同窓会総会の関連行事が、9月27・28日の2日間の日程で、当番校三高の地、長野県茅野市にて

前の昨年から、同窓会入会を希望して、役員会に度々挨拶に顔を出します。本年度で6回目を数える、文化祭の模擬店出店や、母校の卒業式、入学式など、母校に寄与し貢献する事、此れら同窓会の本分は、母校との絆を深めると共に、結果的に「同窓会って何」と、在校生のショッキングな言葉が有った事も、遠い日の思い出に想えて来ました。

世代交代の時期を迎えて、期待の出来る後継者が、誕生しつつある現在、会則の一部改正を考え、第八条の改正案を提案、役員任期1年を2年とする事で、彼ら後継者の育成を考慮した結果、前回の委員会で、全会一致で承認されました。後は総会承認が必要です。

開催されました。

現地集合時間11時半に合わせて、あずさ7号にて、一路茅野駅へ、三高に到着、受付を済ませて、食

堂に集合する。

昼食後、2号館4階にて、吹奏楽部の歓迎のコンサートを鑑賞して寛ぎました。

目的地へ向かう前に、集合写真の撮影をして、バス2台に分乗、最初の見学先尖石（とがりいし）縄文考古館へ向かいました。

滞在時間は僅か20分程で、じっくり見学する余裕は無かったが、目玉の展示品は、H7年に国宝に指定された。縄文時代中期の土偶「縄文のビーナス」と、昨26年国宝に指定された「仮面の女神」の2点です。

2番目の八ヶ岳ロープウェイに向かう車中（2時半）で、御嶽山の噴火の一報を聞くも詳細は判らない。ロープウェイを降りて、溶岩坪庭自然保護区を散策中にポケッタラジオで、NHK第一放送を受信するも通常番組だったので、大災害だったとは、思いもしなかった。

蓼品高原のホテルに到着するも、落ち着くまもなく、関連の会議が始まった。会議は無事終了して、次期総会は、昭和50年の発足から

満40年の記念総会として、相模高を、当番校として記念行事を開催する事になりました。

引き続き、尖石縄文考古館長の守矢昌文氏の「八ヶ岳縄文文化」縄文時代のおもしろさ」と題する講演で、考古館では、じっくり見学出来なかった分、有り余る程の補足をして頂いた。

やっと、一風呂浴びて寛ぐ事が出来た。

夕食を兼ねた懇親会での各高の近況報告の最中一寸残念なことが有りました。

懇親会なので、お互い和気藹々に成るのは、それは結構な事なのですが、度を超してしまい、望星の寺林事務局長が報告を始めた頃には、殆どの方が、聞いていない様な状態だった。

その後も数校の報告が続いていたが、騒がしい状況は変わらず、ついにA高の会長が、報告の中断を求め、かなりキツイ苦言を呈したので、ようやく静かになりました。社会人として恥ずかしい限りでした。

その後のアトラクションとして、

アニマルビンゴなる、数字の代りに動物の影絵が印刷され、英文のスペルは小さすぎて、眼鏡の持ち込み忘れの私には読めなくて、穴あけが出来なくて、カラクジとなつてしまいました。

日程2日目

天竜ライン下りに向かう車中で、地元紙に「三高で、東海大傘下の高校の連合同窓会が開催され、吹奏楽部の歓迎コンサートが行われた。」という内容の記事が掲載された。と云う報告がありました。記事のコピーでも頂ければ記念になったのに、残念。

ライン下りでは、ライフジャケットを着用の上乘船。

天竜温泉港駅、唐傘港、約50分の船旅の始まり。途中お宮が安置され、お賽銭箱が置かれ、願掛け出来る無人船が係留されていた。亦、別の場所では、ドリンク類の無人販売機ならぬ、販売船が係留され、ライン下りの乗員が、売れた分を補充していた。

食事は、連休の谷間の9月下旬の1時半過ぎの閑散とした旧中山道。往時を偲ばせる様な古風な佇

まいの落ち着いた雰囲気の中で食することが出来ました。

近くに出入り自由の無人の「祭り会館」が有り、お神輿の他に用具等が展示されていたので、見学させていだいた。

当所は、御嶽山から20キロ程の距離で、県立木曾病院に近い所、噴火災害の負傷者を搬送していると思われるヘリが、県立青峰高校と思われる学校のグラウンドに、頻繁に発着を繰り返しているのが見られ、災害の緊迫感が伝わって来るのを感じた。

今回のバス旅行は、ガイドさんが、南北に長い信州を手書きの地図で、北から、北信・中信・南信そして東に張り出した東信と4地区に分けられると示しながら、ガイドして頂き堪能出来た旅でした。天竜川と云うと、小学校の国語の授業で教わった。金原明善を思い出すが、金原明善の名前を聞かないので、どういう事と改めて調べると、金原翁は、遠江（静岡）の偉人で、信濃では郷土の偉人には無いと云う事の様です。



同窓会一年目を終えて

2013年度卒業生協会会長 畠山 大輝

私が同窓会の存在を知ることになったのは、霞ヶ関で行われた「同窓会50周年総会」へ参加してからです。私は2013年度の平日教育コース生徒会長をしていて、在校生代表という形での参加でした。名誉校長はじめ歴代の先生方や第一期からの先輩方が出席されていて、とても緊張して足が震えたことを覚えています。しかし宴会になると、若い私たちの話を聞いてくださったり、ジュースやお茶などをついでいく中で打ち解けられてホッとしました。

その総会だけでなく、入学式や卒業式などで、来賓として常々来られている金谷会長、寺林事務局長をはじめ先輩方は「学校愛」で団結していることがわかりました。私や周りの卒業した元生徒会の同級生たちは在学中の生徒会活動がとてもしんどく、やりがいを持ち学校のため生徒たちのために接着剤

になるよう努力しました。望星の生徒みんなを輝く星にたとえて「星魂」みんなにこのように輝き続けてもらう手助けをするモットーに生徒会・文化祭実行委員の活動を行ってきました。そしてこの「星魂」には実はもう一つ意味がありました。それは望星の生徒、先生方、そして卒業生の学校愛がこれからも燃え続けるようにという意味でした。私たちはこのテーマで文化祭を行いました。同窓会も50年という節目の年だったので、このテーマはほんとうによかったと思っています。この「星魂」という言葉はこれからも私たち、望星高校の永遠のテーマになる言葉だと私は思います。この言葉を胸に掲げながら同窓会活動を現在しています。来年から本格的に参加していきたくて考えています。その中で思ったことは、もっと在校生とかかわる機会をもっともつと増

やしていこうと思います。文化祭以外にも望星高校には行事がいくつもあります。そこにも積極的に参加し、お手伝いができたらいいなど感じています。在校生の方々もいずれは卒業生になり同窓会の一員になります。そういう時のためにも良いと思います。私の年代から徐々に同窓会の活動をして、これからの世代にも参加していただきたいと思います。仕事や家庭や学業などで来れないこともあります。しかしみんながあるの輝かしい望星高校で過ごした高



同窓会一年目を終えて

2013年度卒業生 北林 歩

高校を卒業してから、あっという間に1年間が過ぎました。気が付けばもうすぐ今年も終わり、大学生生活の2年目が始まるうと思っています。

僕は高校を卒業後、大学に進学しましたが、進学後の生活は毎日勉強に追われており、心に余裕が全く無く、気が滅入ってしまう

校時代。キラキラした宝物のような時間は永遠です。これから卒業生として望星高校を盛り上げていきたいと思っ



ことが多々ありました。そんな時に、元生徒会長の畠山君に誘われて同窓会に参加することになりました。最初は年の離れた先輩方と活動するということに対しての緊張や抵抗感がありました。実際に同窓会に参加した後、初めての活動である学校行事の文化祭の時には、先輩方から話しかけてくだ

さり、色々なことを教えていただけたので、自然と緊張感は無くなっていました。そして、同窓会に参加している高校時代の友達と活動を共にすることで、心に余裕が出来、気が滅入ることも少なくな

りました。今後も今までの望星高校の生徒としてではなく、同窓会という別の立場から望星高校に関わっていただけることを嬉しく思っています。

校より学だ

剣道部の活躍を紹介します。

(広報誌「すばる」より抜粋)

8月11日(月)、第45回全国高等学校校定時制通信制剣道大会が日本武道館で開催されました。本校より男女6名の選手が東京都代表選拔選手とし全国大会に出場しました。男子団体戦では、東京都Aチームに本校生徒2名が選出され(U3年次服部匡史・U1年次高瀬賢司)予選リーグ1位で突破し、決勝トーナメントも勝ち上がり、大会25連覇を



目指す神奈川県Aチームと決勝戦で対戦しました。善戦及ばず惜しくも敗れましたが準優勝という素晴らしい成績を収めました。女子団体戦では本校の生徒を主体とする東京都Aチーム(W3年次鶴賀千広・W3年次宮郁美・U1年次吉田彩乃)が予選リーグを破竹の勢いで突破し、決勝トーナメントにおいても、一人の敗者を出さない圧倒的な力で決勝戦に進出



し、決勝戦では昨年の大会でベスト4をかけて戦い、惜敗した新潟県Aチームと対戦しました。昨年の悔しい敗戦を見事に乗り越え、45回の歴史の中で東京都代表チームとして初優勝という偉業を達成しました。また、女子個人戦では鶴賀千広が非常に集中した試合運びで優勝(女子個人戦・東京都代表初優勝)、宮郁美も気迫ある試合展開で第3位に入賞しました。

東京都代表チームは、本校の選手を中心に都立私立高校生の混合チームで出場します。男女ともに日本武道館の決勝戦で試合をすることを目標に掲げ、厳しい合同強化練習会を重ね大会に臨みました。男子団体戦はAチーム、Bチームともチームワークで予選リーグを勝ち上がり、決勝戦は惜しくも神奈川県Aに破れましたが、女子団体戦では東京都代表初優勝という栄光を手に入れました。また女子個人戦においては、優勝、第3位という結果を残すことができました。本校剣道部は高校に入学して剣道を始めた生徒、経験者様々おりますが、この全国大会出場を

目標に日々練習に励んでいます。一人ひとりが自らの目標を掲げ、目標にむけて努力を重ねています。今年度はその努力が結果につながったことで、努力したことが自身を裏切ることではない。ということを実体験することができました。来年も日本武道館で試合ができるよう、一日一日を大切に、一人ひとりが自分自身と向き合い、精進を重ねていきます。皆様のご声援のほどよろしくお願いいたします。



皆様のご協力をお願いいたします

思い出のページをめくり直している時に、ふと、手が止まることがあるように、母校への思いが巡ることがあるかとおもいます。

卒業したばかりの方や、長い年月を経ている方などによって、それぞれにその思いに違いはありますが、心の片隅の中に、いつまでも育まれていることでしょう。

その卒業生全員で構成されている同窓会は、皆様の年会費と御篤志によって維持されております。その貴重な会費は、無駄なく有意義に皆様のお役に立つよう使用致します。

そしていつまでも皆様と共に歩んでいきたいと思っております。

どうか、今後とも御支援のほどよろしくお願い申し上げます。

まだ同窓会費の払い込みがお済みでない方は、会費の払い込みをよろしくお願い致します。

同窓会費は年会費 1000 円・寄付 1 口 1000 円です。

誠に恐れ入りますが、振込手数料もご負担下さい。

尚、振込に際しては下記の記入例参照のうえよろしくお願い致します。

< 郵便局振込みの記入例 >

払込取扱票												払込金受領証									
00		東京		口座番号								001303									
				百 十 万 千 百 十 番				金額													
				45170				¥5000													
* 加入者名		東海大学附属望星高校同窓会						* 料金				* 特殊取扱									
* 通		年会費 3 年分																			
* 信		寄付 2 口																			
* 欄		(48B-14 期卒)																			
* ところ(郵便番号)		151-0063						* 受付局日附印													
* 依頼人		渋谷区富ヶ谷 2-28																			
* おなまえ		望星太郎 様																			
		(電話番号 03-3467-8111)																			
裏面の注意事項をお読みください。(郵政事業庁)												* 記載事項を訂正した場合は、その箇所に訂正印を押してください。									
これより下部には何も記入しないでください。												* 切り取らないで郵便局にお出してください。									
入学期・卒業期を必ず記入して下さい。																					
この欄には、年会費か寄付金かの区別を必ず記入して下さい。																					

銀行振込は

みずほ銀行銀座通り支店

普通預金 口座番号 1132172

名義人 東海大学附属望星高校同窓会